

# 聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

## 第4章 ダビデと他の詩篇記者たちの祈り⑤



願い 告白 感謝

願い

讚美と礼拝を捧げる以外に、ダビデと他の詩篇記者たちは、願いを捧げてもあります。彼らの祈りは(多くの人々の祈りとは違って)バランスが取れていることが特徴ですが、詩篇は願いにあふれたものにもなっています。また、詩篇にはありとあらゆる状況や環境の違いが含まれているのも特徴的です。彼らは、「いつでも祈るべき」(ルカ 18:1)という主イエスのことばが記録されるはるか以前に、既にその教えを実践していました。神の子どもたちは、あらゆる時に、あらゆる状況において、祈るようにと教えられているのです。

- ◇ **導きを求めて**-「主よ。私を待ち伏せている者がおりますから、あなたの義によって私を導いてください。私の前に、あなたの道をまっすぐにしてください(5:8)
- ◇ **憐れみを求めて**-「主よ。私をあわれんでください。私は衰えております。主よ。私をいやしてください。私の骨は恐れおののいています。私のたましいはただ、恐れおののいています。主よ。いつまでですか。あなたは。」(6:2-3)
- ◇ **理解を求めて**-「主よ。なぜ、あなたは遠く離れてお立ちなのですか。苦しみのときに、なぜ、身を隠されるのですか。」(10:1)
- ◇ **慰めを求めて**-「主よ。いつまでですか。あなたは私を永久にお忘れになるのですか。いつまで御顔を私からお隠しになるのですか。いつまで私は自分のたましいのうちで思い計らなければならないのでしょうか。私の心には、一日中、悲しみがあります。いつまで敵が私の上に、勝ちおごるのでしょうか。」(13:1-2)
- ◇ **解放を求めて**-「主よ。立ち上がってください。彼に立ち向かい、彼を打ちのめしてください。あなたの剣で、悪者から私のたましいを助け出してください。主よ。人々から、あなたの御手で。相続分がこの世のいのちであるこの世の人々から。」(17:13-14)
- ◇ **苦しみの時に神の助けを求めて**-「私は苦しみの中に主を呼び求め、助けを求めてわが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、御前に助けを求めた私の叫びは、御耳に届いた。」(18:6)
- ◇ **隠れた悪しき罪からのきよめを求めて**-「だれが自分の数々のあやまちを悟ることができましょう。どうか、隠れている私の罪をお赦しください。あなたのしもべを、傲慢の罪から守ってください。それらが私を支配しませんように。そうすれば、私は全き者となり、大きな罪を、免れて、きよくなるでしょう。」(19:12-13)
- ◇ **正しい言葉と思いを求めて**-「私の口のことばと、私の心の思いとが御前に、受け入れられますように。わが岩、わが贖い主、主よ。」(19:14)

- ◇ 赦しを求めて-「私の悩みと労苦を見て、私のすべての罪を赦してください。」(25:18)
- ◇ 主からの助けを求めて-「聞いてください。主よ。私をあわれんでください。主よ。私の助けとなってください」(30:10)
- ◇ 神の祝福を求めて-「御顔をあなたのしもべの上に照り輝かせてください。あなたの恵みによって私をお救いください」(31:16)
- ◇ 神の永続的な臨在を求めて-「私を見捨てないでください。主よ。わが神よ。私から遠く離れないでください。急いで私を助けてください。主よ、私の救いよ。」(38:21-22)
- ◇ 神の裁きからの解放を求めて-「私のすべてのそむきの罪から私を助け出してください。私を愚か者のそしりとししないでください。…どうか、あなたのむちを私から取り除いてください。あなたの手に打たれて、私は衰え果てました。あなたは、不義を責めて人を懲らしめ、その人の望むものを、しみが食うように、なくしてしまわれます。…私の祈りを聞いてください。主よ。私の叫びを耳に入れてください。私の涙に、黙っていないでください。…私を見つめないでください。私が去って、いなくなる前に、私がほがらかになれるように。」(39:8,10-13)
- ◇ 光と真理を求めて-「どうか、あなたの光とまことを送り、私を導いてください。あなたの聖なる山、あなたのお住まいに向かってそれらが、私を連れて行きますように。」(43:3)
- ◇ 純粋な心と安定した魂を求めて-「神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。」(51:10)
- ◇ 神の臨在と聖霊をいただき続けるために-「私をあなたの御前から、投げ捨てず、あなたの聖霊を、私から取り去らないでください。」(51:11)
- ◇ 救いの喜びの回復を求めて-「あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。」(51:12)
- ◇ 神の恩寵がその民に戻ってくることを求めて-「神よ。あなたは私たちを拒み、私たちを破り、怒って、私たちから顔をそむけられました。… いやしてください。…」(60:1)
- ◇ 神の力と栄光を見るために-「神よ。あなたは私の神。私はあなたを切に求めます。水のない、砂漠の衰え果てた地で、私のたましいは、あなたに渴き、私の身も、あなたを慕って気を失うばかりです。私は、あなたの力と栄光を見るために、こうして聖所で、あなたを仰ぎ見えています。」(63:1-2)
- ◇ 打ちひしがれた時に神の助けを求めて-「神よ。私を救ってください。水が、私ののどにまで、入って来ましたから。私は深い泥沼に沈み、足がかりもありません。私は大水の底に陥り奔流が私を押し流しています。私は呼ばわって疲れ果て、のどが渴き、私の目は、わが神を待ちわびて、衰え果てました。」(69:1-3)
- ◇ 年老いた時に助けを求めて-「年老いて、しらがになっても、神よ、私を捨てないでください。私はなおも、あなたの力を次の世代に、あなたの大能のわざを、後に来るすべての者に告げ知らせます。」(71:18)
- ◇ 困った時に神の関心と応答を求めて-「主よ。私の祈りを聞いてください。私の叫びが、あなたに届きますように。私が苦しんでいるときに、御顔を私に隠さないでください。私に耳を傾けてください。私が呼ぶときに、早く私に答えてください。」(102:1-2)



神の精査と矯正を求めて-「神よ。私を探り、私の心を知ってください。私を調べ、私の思い煩いを知ってください。私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、私をどこしえの道に導いてください。」(139:23-24)

## 告白

告白もまた、祈りにとっては本質的な要素です。なぜなら、告白によって、神の憐れみの扉が開き、神の赦しが注がれるからです(2 サムエル 12:13 を参照)。詩篇における祈りの数々には、重要な場面で捧げられた告白も含まれています。

私は、自分の罪を、あなたに知らせ、私の咎(とが)を隠しませんでした。私は申しました。「私のそむきの罪を主に告白しよう。」すると、あなたは私の罪のとがめを赦されました。セラ(32:5)

神よ。御恵みによって、私に情けをかけ、あなたの豊かなあわれみによって、私のそむきの罪をぬぐい去ってください。どうか私の咎を、私から全く洗い去り、私の罪から、私をきよめてください。まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。私の罪は、いつも私の目の前にあります。私はあなたに、ただあなたに、罪を犯し、あなたの御目に悪であることを行いました。それゆえ、あなたが宣告される時、あなたは正しく、さばかれるとき、あなたはきよくあられます。ああ、私は咎ある者として生まれ、罪ある者として母は私をみごもりました。(51:1-5)

## 感謝

感謝は、詩篇の祈りの数々において、主要な役割を果たしました。私たちの祈りにおいてもかくあるべきです。感謝の欠如は、なかなか気づきにくいものです。しかし、確実に私たちの魂を蝕むものとなり、暗闇へと深く導いていくものなのです(ローマ 1:21 を参照)。

あなたは私の荒布を解き、喜びを私に着せてくださいました。私のたましいがあなたをほめ歌い、黙っていることがないために。私の神、主よ。私はとこしえまでも、あなたに感謝します。(30:11-12)

私は神の御名を歌をもってほめたたえ、神を感謝をもってあがめます。(69:30)

私はあなたに感謝のいけにえをささげ、主の御名を呼び求めます。(116:17)

詩篇に記された祈りについての概観を終える前に、最後に少し触れておくならば、ダビデは、習慣的な祈りという、非常に厳しい鍛錬を求められることを身につけていました。彼はそれを、少なくとも二度記録しています。

主よ。朝明けに、私の声を聞いてください。朝明けに、私はあなたのために備えをし、見張りをいたします。(5:3)

夕、朝、真昼、私は嘆き、うめく。すると、主は私の声を聞いてくださる。(55:17)



このような習慣が、彼がまだ若い頃に始められたのは、疑う余地のないことです。ダビデが羊飼いととしての日々を離れる前に既に祈りの人となっていたのは、十分信じるに値することです。なぜなら、祈りという聖なるわざを学び、実践するには、孤独な時間というものが不可欠だからです。



## 質問

1. 詩篇を読むと、あらゆる時に、あらゆる状況において、祈るように教えられています。あなたはあらゆる時に、あらゆる状況において祈っていますか？
2. 今回詩篇の引用とともに23の願いが挙げられています。その中で、あなたは今までどの願いを祈ったことがありますか？今、どの願いを祈る必要があると思いますか？
3. 告白もまた、祈りにとっては本質的な要素であるのはなぜですか。これまで、罪を告白して、神の憐れみや赦しが注がれたという経験がありますか？罪の告白以外にも、「私は・・・をします」という告白も重要です。あなたにはどのような告白が必要だと思いますか？
4. 祈りにおいて、感謝が欠如するとどのような結果になりますか？あなたはどのようなことを神に感謝しようと思いますか？
5. ダビデは習慣的に祈っていました。あなたは祈りを習慣として身につけることができますか？祈りの習慣を身につけるにはどうしたらよいと思いますか？
6. 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？  
(ア)どんなことを実践したいと思いますか？

### 【第4章の学びのための問い】

1. ダビデはなぜ、神の心になかった者と呼ばれたのでしょうか。
2. 一つの祈りを繰り返すことが信仰の無さとなるのはどういうときで、同じことが信仰の表現となるのはどういうときでしょうか。
3. ダビデの祈りは、心の態度の大切さについて、どんなことを示しているのでしょうか。
4. ダビデの例から、人前での祈りについて何を学んだか、まとめてみることはできるでしょうか。
5. 祈りの中でどのように神に近づくべきかについて、ダビデの例にはどんなことが見てとれるでしょうか。
6. 詩篇に見られる祈りの数々から、他には例えばどんなことが学べるでしょうか。